令和８年11月4日

令和８年度　全国学力・学習状況調査結果について

丹波市立久下小学校

【概要】



実　施　日：令和８年　4月 23 日（木曜日）

実施内容：国語（45分）・算数（45分）・児童質問紙

出題内容：

（1）国語、算数はそれぞれ次の　ア　と　イ　を一体的に出題

ア　身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ　知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

（2）児童質問紙

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問



【分析と今後の改善点】

国　語

【成果】

・比喩や反復などの表現の工夫に気づいたり、文章構成を理解したりすることはできている。

・漢字を文章の中で正しく書くことができている。（「短い」「不思議」など）

・自分の考えが伝わるように文章を書こうとしている。

【課題】

・資料から読み取って回答する問題は、正答率が低い傾向にある。

・2つの資料・根拠から読み取る問題にも苦手意識がある様子。

→「情報の扱い方に関する事項」が弱い面が響いていると考えられる。

【今後の改善点】

・普段の授業から、資料を読み取って考えをまとめたり話し合ったりする活動を取り入れる。

・文章を読むことにも抵抗がある児童が多いため、短い文章など、活字に慣れる活動を取り入れる。

算　数

【成果】

・単位量あたりの大きさを理解している児童が多い。

・生活経験に基づくような問題は、正答率が高かった。（数量の関係から、条件に合う時間を求める）

・図からヒントを得て問題を考えている児童が多い。

【課題】

・図からの読み取りはできるが、表から読み取ることは苦手な傾向にある。

・文章と数字のみの問題をイメージすることが難しい。

　→視覚支援があると解きやすいが、視覚支援がないと考えることが難しいと考えられる。

・題意を読み取れず、問題に出てくる数字のみを計算している。

【今後の改善点】

・文章と数字のみ、表を使った問題などに取り組む。

・文章を読み関係図に書く、表に数字を書き込むなど、自分で図や表を書く活動を取り入れる。

　（題意を正しく理解する）

児童質問紙

・１日当たりメディアを使って SNS や動画視聴などをする時間が非常に多く、全国平均以上である。

⇒メディアに触れる時間の見直しを、児童への啓発だけでなく、保護者とも連携して取り組む。

・自分の良いところを認めたり、認められたりしていると実感している児童が少ない。

・困りごとや不安がある時に相談できなかったり、人と違う意見を言ったら否定されるかもしれないと感じたりしている児童がいる。

⇒あいさつ名人やそうじ名人などの取り組みを行い、児童の自己肯定感や幸福感を感じられるよう、学校生活を通して働きかける。

・国語に対して苦手意識をもつ児童が多い。

⇒国語は「読み・書き・思考・発表」など、他教科の要となる教科であることから、将来に向けて親しみや達成感をもてるように働きかける。

・本への親しみが少なく、読書時間も少ない。

⇒月に１回家庭読書を行い、親子で読書に親しむ機会を設ける。

⇒月に１回 PTA による読み聞かせ活動を行い、本に親しむ機会を設ける。

⇒図書館サポーターとも連携し、児童が本を読みたくなるよう図書室の環境を整える。